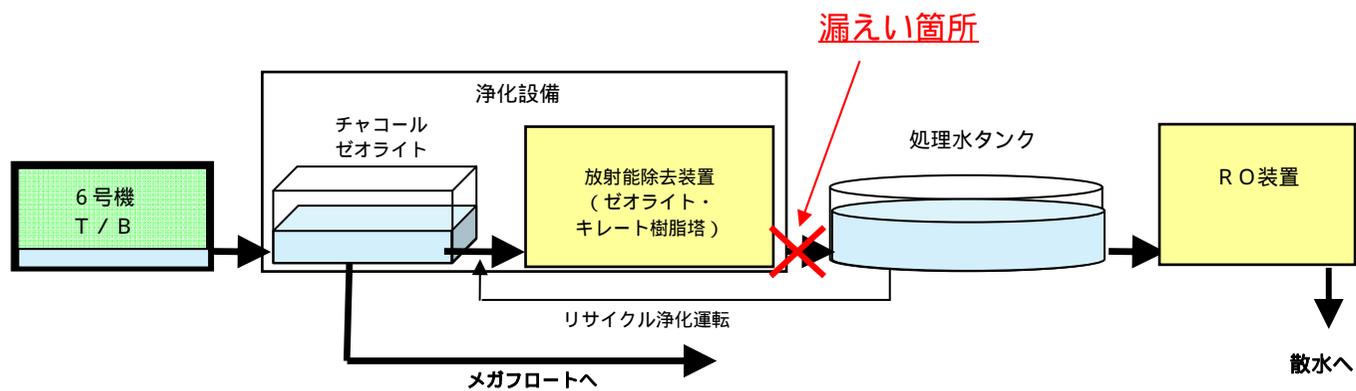


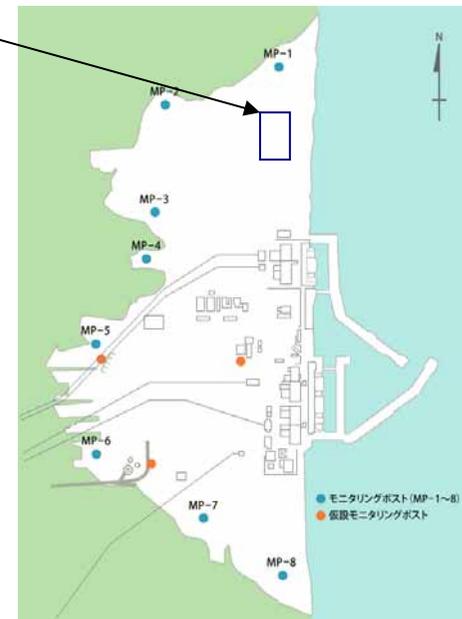
福島第一原子力発電所6号機 浄化設備の配管からの漏えいについて

- ・ 日時：平成24年10月4日 午後4時30分頃発見
- ・ 場所：5、6号機北側 Fタンクエリア
- ・ 状況：
10月4日午後4時28分頃、10月3日に発生したRO装置端子台の焦げ跡調査が終了し、浄化設備のポンプを起動したところ、午後4時30分、配管の継ぎ手部から、水漏れが発生していることを当社社員が確認。
ただちにポンプを停止したところ、午後4時35分頃に水の漏えいが停止していることを確認。
その後の調査において、漏えい箇所は、キレート樹脂・ゼオライト吸着塔で処理後の配管の継ぎ手部の穴であることを確認。
漏えい箇所にはビニール養生がされており、現場近傍には側溝がないことから、海洋等への流出はない。
- ・ 穴の大きさ：約3mm×約1mm
- ・ 漏えいした水の量：放射能除去設備の処理後の水（約12L）
- ・ 漏えいした水の核種分析結果：I-131：検出限界値未満（ 1.6×10^{-2} Bq/cm³）
Cs-134： 1.5×10^{-1} （Bq/cm³）
Cs-137： 2.4×10^{-1} （Bq/cm³）

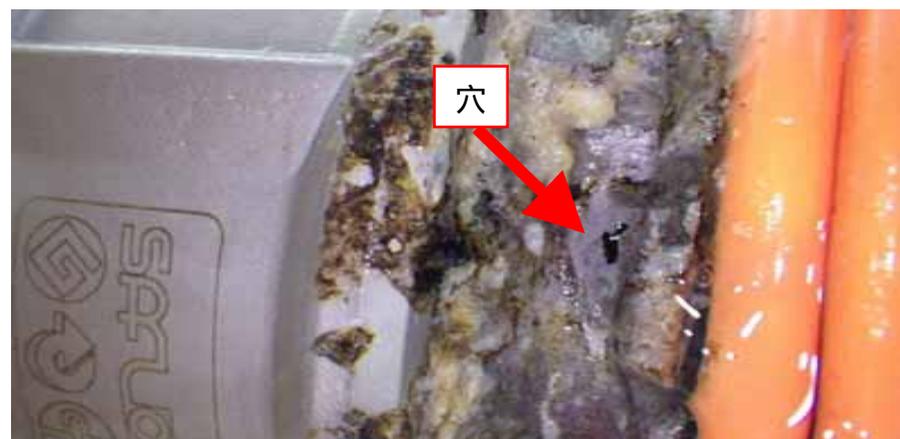
< 現場の概要 >



事象発生箇所



漏えい箇所



漏えい箇所 (拡大)

撮影日:平成24年10月4日

提供:東京電力株式会社